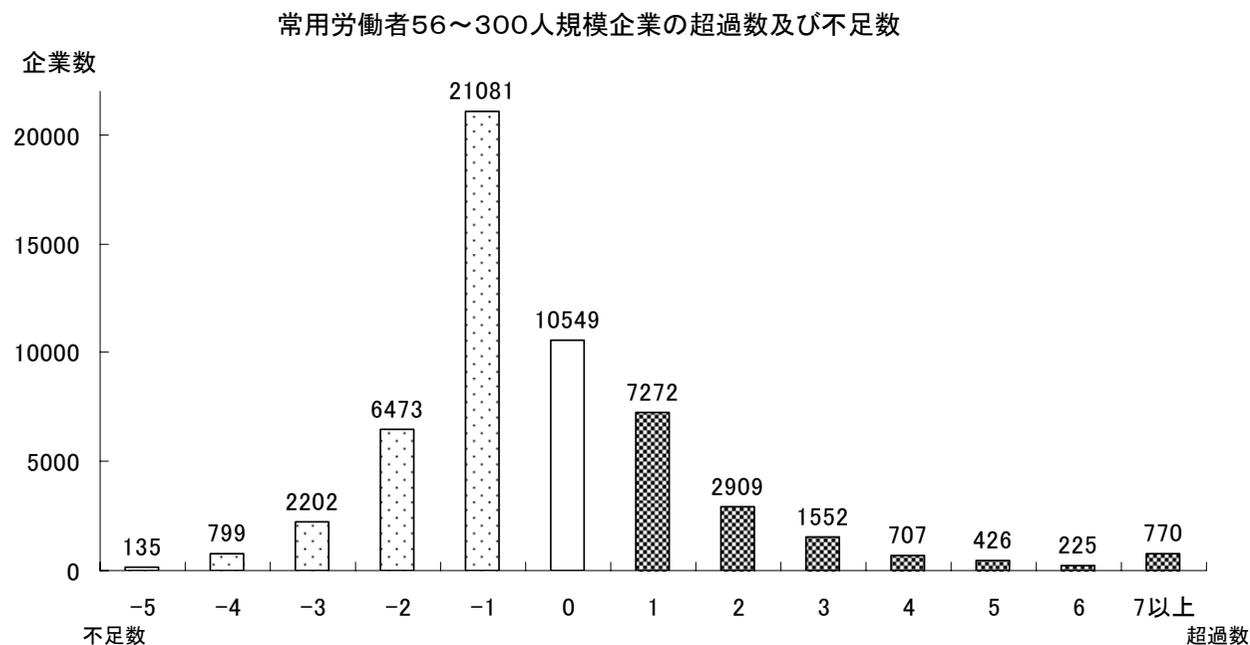


常用労働者 300 人以下規模企業における障害者雇用状況（雇用障害者数の過不足）について

1. 常用労働者 56～300 人規模企業における超過数及び不足数の分布（企業総数 55,100 社）

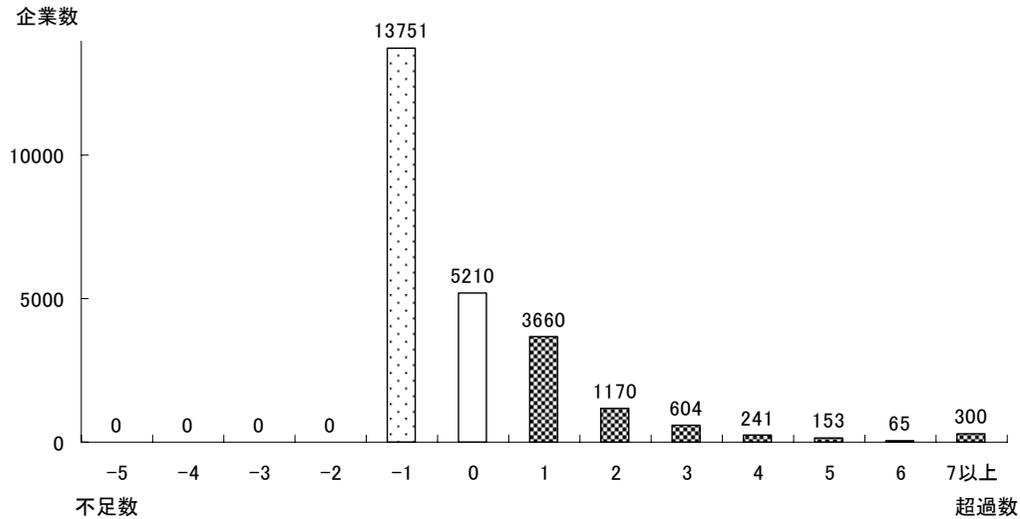


(注)

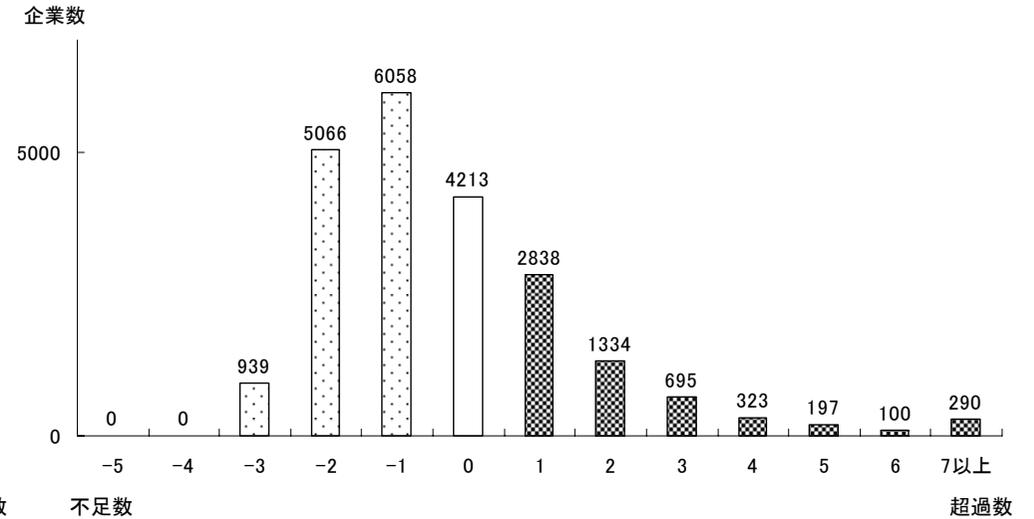
- ① 平成18年度「障害者雇用状況報告」により作成。（企業総数は55,100社）
- ② グラフにおける超過数及び不足数について、
 - ・ 「-5」とは不足数が5人又は4.5人の不足を指し、「-4」とは不足数が4人又は3.5人の不足を指し、「-3」、「-2」、「-1」についても同様である。
 - ・ また、「0」とは不足数が0人、つまり法定雇用障害者数と同数の障害者を雇用していることを示す。
 - ・ さらに、「1」とは法定雇用障害者数を0.5人または1人超過して障害者を雇用していることを指し、「2」とは法定雇用障害者数を1.5人または2人超過して雇用していることを指し、「3」、「4」、「5」、「6」、「7以上」についても同様である。

2. 企業規模別の超過数及び不足数の分布

常用労働者56～100人規模企業の超過数及び不足数(企業総数25,154社)



常用労働者101～200人規模企業の超過数及び不足数(企業総数22,053社)



常用労働者201～300人規模企業の超過数及び不足数(企業総数7,893社)

